

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3972100394
法人名	医療法人レザレクト
事業所名	グループホームはなみずき
訪問調査日	平成 19年 8月 22日
評価確定日	平成 19年 12月 18日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

【評価実施概要】

事業所番号	高知県指定第 3972100394号
法人名	医療法人レザレクト
事業所名	グループはなみずき
所在地 (電話番号)	高知県香南市野市町西野1886-3 (電話) 0887-56-5503

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年8月22日	評価確定日	平成19年12月18日

【情報提供票より】(19年8月7日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 16年 6月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9人
職員数	11人 常勤 7人, 非常勤 4人, 常勤換算 9.2人

(2)建物概要

建物形態	併設/ <del>単独</del>	新築/改築
建物構造	鉄骨造り	
	1 階建ての	1 階 ~ 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,500 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4)利用者の概要(8月7日現在)

利用者人数	9名	男性	名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2			4名
要介護3	2名	要介護4			2名
要介護5	名	要支援2			名
年齢	平均 90.5歳	最低 80歳		最高 106歳	

協力医療機関名	岡村病院, 藤河歯科医院	2
---------	--------------	---

田園地帯にあり、玄関前にはパッションフルーツやスイカが植えられ、南側フロアからは広い花畑が見え、のどかな時間が流れている。ゆったり、ゆっくりした時間が流れ、一人ひとりの利用者が他の人の目を気にせず、ありのままに、自由に " その人らしく " 暮らしている。これらは管理者はじめ職員のしっかりした高齢者感、福祉感、グループホーム感等に裏づけされたものであるが、母体法人のグループホームに対する深い思いや、姿勢も評価したい。利用者にとって、どのような心身の状態になっても、安心して暮らし続けることができ、また自分らしく暮らすことの出来るホームであり、心温まる雰囲気醸し出している。今後、現状を維持し更なる発展を期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善点を職員全員に報告し、改善に向けて職員全員で取り組みほぼ改善できている。ただし、行政との連携、同業者との交流が改善点として残っている。この2点について、現在、母体法人の協力も受けながら改善に向けて取り組んでいる。ケアプランについては、きめ細かく個別性のあるもので、アセスメントもホーム独自のものを開発し使用されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価結果をもとに改善に取り組み、より良いサービスの提供に努めている。今回の評価にあたっては、職員全員で取り組み、残された課題については、管理者、職員はじめ母体法人の協力で取り組んでいる。地域密着型の手本のようなホームになりつつある。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>事業所は開設4年目を迎え、母体法人のクリニックが地域に密着できていることも踏まえ、地域の中に認知はされているが、地域の中で果たす役割等、職員側の認識が十分とは言えない。また地域との連携は働きかけ次第で、地域住民の一員として受け入れられる条件は十分整っているため、今後の取り組みに大いに期待する。運営推進会議においては、事業所側から利用者の状況報告、情報交換、連絡事項のみで、意見交換までには至っていないが、会議録も取られ、職員間では共有できている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族会はあるが、年1回程度の開催である。ホーム便りも発行しているが、連絡事項が多く日常生活の報告が少ない。しかし家族の来訪時には、職員は積極的に日常の暮らし等を報告しているため、家族との信頼関係は構築できている。利用者が、安心して暮らすことの出来る環境が整っているため、家族からの苦情等はないが、家族には良くしてもらっているからこそ遠慮される心情もあるので、いつでも相談や苦情が言えるよう、繰り返し家族に伝える努力を続けていくことを望む。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に入会し、回覧板等も回ったり、地域の一斉清掃にも参加するなど、地域の一員となるべく努力している。野菜のおすそ分けや地域の押し花サークルとの交流など地域の一員となりつつあるホームである。今後さらに地域住民との積極的な連携を進めることで、ホームが地域住民により一層認知されていくことを期待する。</p>



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔評価内容を報告し改善に向けて具体的に取り組んでいる。〕	○	運営推進会議の基盤は出来ており、会議録も取り職員間の共有はできているので、今後会議は報告だけではなく、意見や要望などを引き出せるように、会議運営に向けてさらに配慮されたい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔行政との連携は、運営推進会議のみであるが、年1回行うバザーに招待するなど連携には努めている。〕	○	地域密着型サービスにおいて、市町村との連携は重要であり、ホーム側から積極的に連携を図っていくことを望む。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔家族の来訪は少ないが、来訪されると積極的に近況報告をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔年4回、「ホーム便り」を発行し家族に送付している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔心身の状況に変化があれば、すぐ電話で報告を行っている。〕 <input type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔 〕	○	数名の金銭管理を行っているが、それに係る規程が定められていないので、早急に作成し、それに基づき管理する必要がある。また金銭出納帳がバラバラに保管されており、家族の確認印、領収書のコピーもないので整理方法の検討も必要である。利用者とのトラブルや不正を未然に防ぐ仕組み作りが急務である。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔 〕	○	家族会は、年1回行事の時に行う程度である。家族会が、家族同士の情報交換や意見・要望を率直に話し合える場になるように、今後会の持ち方等について検討されることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔管理者、常勤職員の交代はある。新しく採用する職員については、事前に研修という形で、退職する職員と共に勤務するよう工夫している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 〔 〕		
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔母体法人の地域包括部長が研修等を計画しており、それに参加している。外部研修も年1回は全職員が参加できるシステムになっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修参加後は、報告書を提出し、朝のミーティングや職員会で報告し、研修内容を共有出来る仕組みになっている。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔全国のグループホーム協議会には参加している。〕 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔グループホームの行事があるときは、地域の同業者は招待しているが積極的な連携には至ってない。最近、地域のグループホームの勉強会が行われ参加した。今後、継続して開催される予定である。〕	○	同業者との連携・交流は、事業所内でのサービスの向上や仕事の悩み等の解消のためにも重要である。地域における事業所間の交流は始まったばかりなので今後期待したい。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔ホーム独自の年代別シート、生活情報シート等により情報を収集している。入居希望者の全体像がイメージできるが、これらの情報がまとまって綴じられてないので、誰が見てもすぐ分かるよう整理することを望む。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔体験入居もでき、事業所の見学なども積極的に行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔事業所に来てもらったり、家庭訪問を行い、本人や家族と面接を行った上で、相談に応じるなど柔軟に対応している。〕		





外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔終末期の指針も作成され、入居契約時に本人、家族に説明しているが、同意書が作成されていないので、今後は、同意書を取るようになされたい。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 〔母体法人が医療機関であるため、医師、看護師等との連携はとれており、入居契約時に看取りについて本人、家族の意向を聞き、その要望に沿い最期を迎えられる体制は整っている。〕</p>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔利用者にそっと寄り添い、一人ひとりの利用者を大切にされ共に暮らしていることが伝わってくるホームである。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔日々の関わりの中で、職員は注意を払い、さりげなく対応できている。〕</p> <p><input type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔 〕</p>	○	<p>面会簿がそのまま玄関のカウンターに置かれていた。例えば面会票に変更し、他の人の目に触れないようにされたい。また個人情報保護マニュアルを作成され、個人情報の理解に努められることを望む。</p>
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔利用者一人ひとりの体調に合わせ、強制せず、自然体で、穏やかな時間の流れの中で暮らしている。買い物、散歩等利用者の希望に応じ柔軟に対応できている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔利用者中心の生活ができている。一人ひとりの利用者の要望に応えたサービスが提供できている。〕</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔食事作りには、パート職員が配置されており、利用者は出来ることをそれぞれ行っている。食事時間も2時間ぐらい掛けてゆっくり食べる利用者もいる。グループホームの基本である「ゆっくり、ゆったり」が実践されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事介助のみではなく、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔 〕	
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔 〕	
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔ドライブや、花見、舞踊、自分のつくった俳句を短冊に書く等、出来ること興味のあることにアプローチし継続していくように声がけしながら支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔出来ることにアプローチし、例えば、食事の下ごしらえ、花畑の草引き等、負担にならない程度に毎日行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため、職員は働きかけを行っている。 〔同じ法人が運営しているデイサービスにコーヒーを飲みに行ったり、花畑の草むしり、畑も借りて利用者で野菜づくりをしたりと、職員は働きかけている。〕	

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔馴染みの場所へドライブに行ったり、近くのスーパーに出かけたりしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔一人ひとりの体調や要望に応じて、また天候等に合わせて外出支援を行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔それぞれの利用者の身体状況に応じた外出となっている。桜やあじさいの時期には、花見にでかけるなど外出することを心がけている。〕		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔利用者にとって生活の場が出来上がっており、一人で外出される利用者はいない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔地域とのネットワークが出来ている。〕		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔火災訓練は、年2回行っており、1度は地域の消防署との連携で行い、あとは事業所独自の自主訓練として行われている。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔 〕	○	防災訓練等は可能な限り、地域住民、運営推進会議等の協力を得て行うようにされ、災害マニュアルも作成される事を望む。また、非常食等の備蓄ができていないので、食料品等の備蓄をされる必要がある。

